



うさぎ組だより 2月



尚徳福祉会 とちょう保育園



一年でいちばん寒い月がやってきました。朝晩の寒さに加え、乾燥もあり、体調管理が難しいですね。そんななかでも元気なうさぎ組さんの今のテーマは「鬼」。「節分」を楽しみにしながら「♪おにのパンツ」「♪まめまき」の歌や、鬼にちなんだ製作などで盛り上がっています。

鬼のお面では一人ひとりがハサミを使って紙テープを切り、鬼の髪の毛を作りました。子ども用ですが、本物のハサミを初めて使う子もあり、「手を切らないように気を付けようね」とお話しをすると、子どもたちは慎重にハサミを持ち、真剣な顔でちょきちょきしていました。手先が少しずつ器用になってきて、いろいろな道具を使って製作を楽しむ姿にも成長を感じます。今年度も残すところあと2か月を切りました。日々を大切に、今月も楽しく過ごせたらと思います。



2月の目標

・進級を意識し、心待ちにする。

4月からはそれぞれ新しい環境での生活が始まります。進級が不安ではなく、楽しみにするようなお話や関わりを意識したり、身辺自立にむけてのサポートを行なっていきたいと思っています。

・友だちと関わり合いながら遊びを楽しむ。

お友だちとイメージを共有し、一緒に同じ遊びを楽しむ姿が多く見られるようになってきました。自分の思いを相手に伝えたり、相手の気持ちを知られたり、友だちとの関わりも少しずつ変化してきました。時に思いがぶつかる場面もありますが、自分たちで解決する逞しさも芽生えています。友だちとの楽しい関わりを見守っていききたいと思います

・今月の歌♪「まめまき」「おにのパンツ」「ひなまつり」



できるかな？やってみよう！



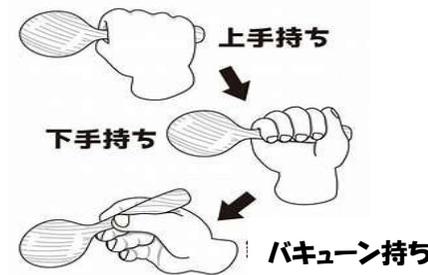
「いただきます！」「今日はなにかな？」・・・たくさん遊んだ後はお楽しみのお昼ごはんです。「ごはん＝エプロンをつけて席に座る」という習慣が身に付いているうさぎ組さんですが、食べ方が上手になってきて、こぼすことが少なくなってきている子もいることから先日、「エプロンはずして、ごはんを食べてみようか！」とお話してみました。

子どもたちは「3歳だから？」「やったー！」と概ね嬉しそうな様子でした。「エプロンはずしてみよう」「こぼさないように」意識しようと頑張る姿をみんなで見守っていききたいと思います。



また、同時にスプーンの持ち方も少しずつ伝えていきたいと思っています。上手持ちから下手持ちを経て大人と同じように3点持ちをするようになってきた子もいます。園では、下手持ちですくって食べることが安定してきたお子さんに、今度は親指と人差し指を立ててピストルの形を作り、その上にスプーンをのせてあげ、そっと握る「バキューン持ち」（いろいろな言い方がありますが）を伝えています。

基本は美味しく楽しく食べることですが、進級を見据えて少しずつ意識していけるとよいですね。



寒い日は室内での遊びを楽しんでいます。ホールでは体操などをして体を動かしています。「どうぶつでんしゃ」や「ジャンボリミッキー」などの体操を楽しんだ後、「次は何にしようかな？」と子どもたちに聞くと、「おまつり〜」の音が…。そこで「月夜のポンチャラリン」と「すいかメロン」の曲を流すとみんなノリノリ。動きをよく覚えていて驚きました。大人は「夏の曲」「お祭りの曲」と思い込みがちですが、子どもにとっては関係ありません。大好きな曲をかけて、思いきり踊っちゃおう！と楽しんでいます。